

令和3年度実質当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・金沢競馬を取り巻く環境は、売上の主軸となっているインターネットを利用した在宅投票により、売得額が増加傾向にあるものの、新型コロナウイルスの影響等で先行きは不透明な状況にある。
- ・令和3年度の事業実施にあたっては、JBC競走を金沢で開催するなど新規ファンの獲得を図り、更なる歳入確保に向けた取り組みを進めていく。

◎重点主要施策の概要

○ 第21回JBC競走の開催

令和3年11月3日（祝・水）に、地方競馬最大規模の「ダート競馬の祭典」であるJBC競走を開催する。（平成25年度以来、2度目の金沢開催）

当日は、全国に金沢競馬と石川県の魅力を発信する格好の機会と捉え、開催に向け万全を期す。

○ 自場売得額の確保

収益性の高い自場売得額の増加策として、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りつつ、競馬ファンに喜ばれる多頭数が出走するレースや交流競走の提供により競馬自体の魅力向上に努める。

○ 在宅投票による売得額の確保

売上の主軸となっている在宅投票について、全国版スポーツ紙等へのレース情報の掲載を拡大するほか、引き続き薄暮レースを実施し、より多くの競馬ファンが金沢競馬の勝馬投票券を購入できるレース編成を行い、売得額の確保に努める。

また、インターネット投票会社と連携した協賛レースの実施や金沢競馬の勝馬投票券を購入したファンに対する本県特産品のプレゼントキャンペーンなどを行い、ネット会員への販売促進を図る。

令和3年度実質当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎ 主要事業

| 事業名 | 金額(千円) | 説明 |
|-----------------|------------|---|
| 歳入 | 26,314,117 | |
| (1) 収益事業収入 | 25,561,140 | |
| 勝馬投票券発売収入 | | <p>競馬開催規模</p> <p>開催回数 19回</p> <p>開催日数 77日</p> <p>レース数 873レース</p> <p>自場売得額の確保</p> <p>多頭数が出走する魅力あるレース、交流競走の提供</p> <p>在宅投票による売得額の確保</p> <p>④ 全国版スポーツ紙等を利用した広報の拡大</p> <p>薄暮レースの実施</p> <p>インターネット投票会社と連携したPR</p> |
| (2) その他収入 | 752,977 | |
| 他場勝馬投票券発売業務協力金等 | | <p>他場勝馬投票券の発売</p> <p>JRAが開催する全ての重賞レース等を発売</p> <p>GI競走の前日発売を実施</p> |
| 歳出 | 26,314,117 | |
| (1) 競馬開催費 | 26,314,117 | <p>金沢競馬の運営管理</p> <p>④ 第21回JBC競走の開催</p> <p>地方競馬最大規模の競走を実施</p> <p>開催日 令和3年11月3日(祝・水)</p> <p>レース名 JBCクラシック(2,100m)</p> <p> JBCスプリント(1,400m)</p> <p> JBCレディスクラシック(1,500m)</p> |

競馬事業局